

夜 叉

観賞日 2019年9月14日

【概要】

制作 1985年 上映時間 128分
監督 降旗康男
撮影 木村大作
音楽 佐藤光彦、トゥーツ・シールマンズ
出演 高倉健（北原修治）、田中裕子（螢子）
いしだあゆみ（冬子）、ビートたけし（矢島）
田中邦衛（啓太）、小林稔侍（トシオ）
乙羽信子（うめ）、奈良岡朋子（塙松子）



【あらすじ】

若狭湾に面する小さな港町。土地の漁師、北原修治は一家6人で慎ましく暮らしていた。修治は15年前まで大阪ミナミで背中に夜叉の刺青を入れた名の知れたやくざ者であった。修治はやくざ同士のシャブを巡る抗争に嫌気がさし、冬子と結婚して冬子の故郷のこの小さな港町にやって来た。ある日、漁港に螢という名の居酒屋ができる。螢の主の螢子はミナミからやって来た女性で漁師たちは修治も含め螢子の妖しい魅力の虜になり店は繁盛する。そこに螢子の情夫の矢島がやって来る。矢島は漁師たちにシャブの味を覚えさせる。それを知った修治は螢子に矢島にシャブの取引を止めるように言うが、逆上した矢島が修治に襲いかかり修治の元やくざという素性がばれてしまう。やがて、修治は螢子にミナミでやくざに捕まった矢島を助けてほしいと懇願され、15年ぶりにミナミに向かう。修治は首尾よく矢島を救出するが、かつて自分の舎弟であったトシオの裏切りにあい矢島を殺されてしまう。

寒風吹きすさぶ冬の日本海。魔性の女のささやきと体に染みついた夜叉。揺れ動く男の気持ち。木村大作のカメラが冴える、これぞ演歌の世界。

【解説】

■ポイント

●田中裕子（1955年～）

- ・1955年大阪生まれの女優。昭和天皇と誕生日が同じで「裕子」と名付けられた。明治大学在学中の1978年に文学座に入り、翌1979年にNHKの連続ドラマ「マー姉ちゃん」の主役でテレビデビュー。
- ・映画は1981年の「ええじゃないか」でデビュー。いきなり日本アカデミー賞最優秀助演女優賞、最優秀新人賞を獲得。1983年のHNKドラマ「おしん」で記録的高視聴率を獲得し国内だけでなく、海外でも有名女優となる。
- ・1989年、歌手の沢田研二と結婚、略奪愛と騒がれる。



■見どころ

●再三登場するアーチ橋

冬子と螢子、土地の漁師とミナミのやくざ。行ったり来たり、揺れ動く修治の心情。

●ラストシーンの鏡に映る螢子の薄笑い